

ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティー誌

3

No. 229
Mar. 2017

特集：「IPSの魅力を伝えたい！ ポジティブ思考が成功のカギ」

－ IPS 全国研修岡山大会開催報告①－
講演会&シンポジウム特集



IPS全国研修岡山大会開催報告① 講演会&シンポジウム特集



IPSの魅力を伝えたい！ポジティブ思考が成功のカギ

平成29年3月4日、第5回IPS全国研修岡山大会が、川崎医療福祉大学にて開催されました。当日は、大会スタッフを含め、約300名の県内外からの参加者が集まり、IPSについて学び、魅力について参加者の皆さんで確認できる大会となりました。IPS大会報告を、今月、来月の2回に分け、当日の熱気をみなさんにお伝えしていきます。

IPSはリカバリーモデル
アメリカでは二千年過ぎにリカバリーという概念があちこちに出てきました。リカバリーの概念とうまく結びついたものがIPSモデルです。大事なことは、「できないこと」ではなくて「したいこと」を実現する

IPSとは、だれもが働けるということを示したモデル
まず、IPSとは何かという事です。IPS細胞で有名ですが、individual placement and supportの頭文字を取ったものですが、分かりにくいと思います。日本語訳もたくさんあり、必ずしも統一されてはいません。訳語の統一はともかくとして、私は働きたいを支える支援ではないかと思っております。それは「働きたい」という願いは、実際は「働ける」という事実に移嫁する、支援があればだれでもが、この社会で働けるという事を示したのがこのIPSモデルと思っています。それはリカバリー志向のモデルと言ってもいいと思います。



早稲田大学 人間科学学術院
教授 田中英樹氏

基調講演 IPSの魅力と可能性

IPSはこれまでのリハビリテーションの在り方を大きく変えた！

そしてIPSの特徴は、何といっても当時のリハビリテーションの主流であった段階的な取り組み、例えば、薬の自己管理が出来たら、その次にやっと退院など、段階論を中心としたリハビリテーションの在り方を大きく変えるという事も画期的だったと考えています。

次に精神障害者にとって働くことの意義を整理していこうと思います。

- ① 障がい者の基本的権利。憲法に規定されている働く権利、労働権。これは何人にも保障される権利です。
- ② 生計の手段、収入の獲得。これも社会の中で働くことを通して、特別なお金持ちの家に生まれない限り、働くことで生計を成り立たせています。
- ③ 個性の発揮、自己実現、やりがい。働くことと自己実現は非常に結びついています。
- ④ 病気の軽減や認知機能改善。かつては病気を悪化させる要因だと捉えられていた、働くという事が、実はそうではなく、病気の改善や回復にむしろ役に立っているということなのです。

⑤ 社会的役割の実現、社会参加、ステイグマの軽減。精神障害者がこれだけ働けるんだという事を証明していくことが、それがステイグマを軽減していく事だと思っています。

⑥ 所得税収入の増加、社会保障費の軽減、社会統合の促進。障害者という枠組みの中で、ただ保護されるという存在ではなく、社会に還元していく。それによって、社会統合を図ることが出来るということです。

今の精神障害者の支援というものが働くことを含めて何が国際標準であるのか明らかにしておこうと思います。それは第一に入院治療というのは世界では例外です。特別な事なのです。基本は地域での自立生活支援にあるわけですね。ここが日本と世界との大きな差です。これを今一生懸命埋めようとしています。入院医療が第一選択肢となっているのは日本だけです

**精神保健福祉手帳を
持っているほとんどの人が、**

仕事に就いていない現状

さて、就労という事に絞っていくと、十五歳以上、六四歳以下の精

神障害者保健福祉手帳保持者のうち、全国で六万人が就業(平成二十年一月発表 厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策部調査結果)しており、八十%以上は就業していないのです。

その就業も、常用雇用は32.5%で、多くがパート、アルバイトなどの不安定な就業か、就労継続支援B型などの福祉的就労です。

就労したい希望は、各種の調査で六、七割ありますが、現実には働く場と機会が絶対的に不足しています。

また、精神障害者の場合、一般就労の平均収入(月)が十五万円と比較して、就労継続支援B型事業所での平均収入が一、二万円の福祉的就労の収入では生活できない状況です。

その働きたい、働く場をどのように保証していくのか?それで、IPSのプログラムに注目が集まってきたのだろーと思います。そのIPSの考えは職業リハビリテーションの考えを変容させました。

「働きたい」から「働ける」へ転換

はじめにお伝えした通り、働きたいという事は前から思っていた事です。しかしそれは願望であって誰もが働けるわけではない。働くには体

力いる、精神力がいる、忍耐力がいる、いろんな能力がいるんだと思われてきました。しかしそうではない。「働きたい」から「働ける」へ転換することが出来るんだという事です。これをまさにIPSが示したわけ

大会講演

**なぜIPSを始めようと思ったのか
アメリカ視察から現在の取り組みまで**



社会医療法人清和会西川病院

副院長 林 輝男氏

私が勤めている社会医療法人清和会は、島根県浜田市の浜田漁港の周辺に病院関係の様々な社会資源が点在しており、現在は西川病院に医師として勤務しています。

私がIPSの導入のきっかけとなったのは、十代の男性への支援がきつかけです。彼は、軽度知的障害、注意欠陥多動障害、反抗挑戦性障害の診断を受け、三歳の時に両親が離婚し、五歳の時に母の育児放棄、虐

待にて養護施設に入所していました。十歳から十二歳の時には、喫煙や入れ墨、盗み、暴力などで、医療保護入院し、十三歳の時にも同様の理由で入院しています。入院中から退院後は働きたいという希望を話していました。退院後、法人内の就労継続支援B型の利用を開始しましたが、素行は悪く、十代で飲酒、喫煙もあり三カ月で、利用中止となりました。

しかし、彼は体力があり「体を動かす仕事があったい」と話していました。そこで、病院の裏山を畑にするというチームを作り、彼も一緒に開墾し、四カ月後には立派な畑にすることが出来ました。

しかし、畑が完成すると彼のモチベーションが下がり、病院内での合同カンファレンスで、彼の支援についてブレインストーミングしました。その中で、参加スタッフから仕事に関する提案があり、ある雇用主に彼と一緒に会いに行くことになりました。二か所面接に行きましたが、どちらも雇用を断られてしまいました。「精神病院に入院した奴は、誰もやとってくれん」と、彼はすっかり気落ちしていました。



彼の働きたいという

モチベーションを知った

そこで、彼の希望に合う職場探しを始めました。浜田市は、漁業の町で、遠洋漁業船員の面接に私も同行することになりました。事業主に対し私からは、彼の知的な問題、主治医としての私との関係性の説明をしました。

面接後、見事採用となり、彼も非常に喜びました。職場ではひどく怒られたり、過酷な職務だったようですが、彼は大変頑張って仕事に行っていました。

「なぜ頑張れるのか」の問いに、彼は、「子どもの面倒を見れない大人になりたくない」ときっぱりと答えました。ここに彼の働くモチベーションがあると感じました。

「リスク」に立ち向かい挑戦する大切さ

彼の支援を通して学んだことがあります。

①本人の思いを最優先に、問題山積みの中でも、本人が希望すれば仕事探しを開始したこと。

②問題の改善ではなく、「強み」を発見し、生かす方向へ変換したこと。

③彼を社会に出すのはリスクになるかもしれないが、「リスク」を取らな

ければ飛び立つことが出来ない。

④就労後の「個別」支援では、雇用後も病院の支援が継続されることを雇用主に約束したこと。

私が読んだ米の雑誌に、就労支援特集が掲載されていました。IPSでの就労支援では就労率も高く、エビデンスがしっかりと出ていて効果も高いとありました。しかも、私が彼の支援を通じて感じていたことが原則の中に入っていたことに驚きました。

効果のあるIPSが、日本で普及しないのはなぜ？

しかし、なぜ日本では、IPSの普及が遅れているのか？という疑問

日本の人口
127,000,000人
島根県の人口
690,000人(0.54%)
浜田市の人口
60,000人(0.047%)



アメリカの人口
318,857,056人
ベルモント州の人口
626,562人(0.20%)
バーリントン市の人口
42,417人

中央年齢
アメリカ 37.7歳
ベルモント州 42.6歳



問が沸いてきました。そこで、直接IPSの開発に携わったベッカーさんにメールを送り、アメリカでのIPSの取組について視察にいくことが実現しました。

ベルモント州の精神保健政策の特徴は、州全体で精神科病床は百八十八床であり、全米で最も入院患者収容サイズが小さく、全米でも多くの州で、その体制の導入を検討しています。現在その州には、地域精神保健センターがあり、多くの予算を分配し、ほとんどの支援を一つで行えるようにしています。外来、

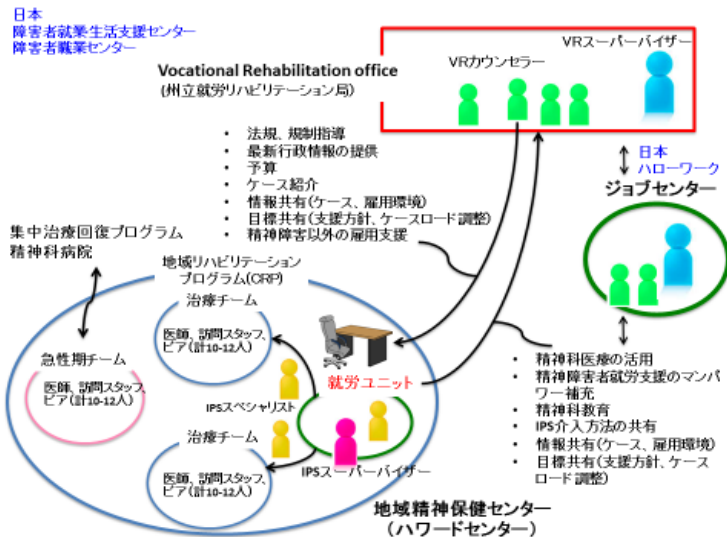
デイケアグループホーム、就労支援などすべてのサービスをを行っています。地域にいる方すべてが安定しているわけではなくて、症状が落ち着かない方には、集中地域回復プログラムを整備しています。ここでは、ピアのマンパワーが重要な役割を果たして、ソテリアハウスやピア運営整備されています。

ベルモント州で、IPSモデルが始められた経緯は、ドレイク医師へ新しい就労支援モデルの検討依頼が無い込み、

偶然にもベッカー氏がセンター長を務めていたデイケアセンターが閉鎖になり、そこからIPSの就労支援を開始することになりました。

米ではIPSはどのように機能しているのか？

地域精神保健センター（ハワードセンター）では、完全チーム制で行っています。急性期チームは、医師・看護師・ピアの方です。地域で体調が悪い方がいると、このチームが出て行き診断します。どうしても良く



ならない場合は入院になるし、もう少し様子を見ていく場合は、先ほどの集中支援プログラムで様子を見ていきます。

それぞれのチームにはチームリーダーがいて、そのチームが前向きな気持ちでいることが出来るよう促すのが大きな役割です。

チームの中で一番主力になるのがケースマネージャーです。生活全般を支援していきます。それに加えてIPSチームは就労ユニットに属しています。就労支援スペシャリストの役割は、担当ケースを二十名から二十五名までとし、これを超える就労率が下がると言われています。数が増えるときは、ウエイティングリストにかけてもらうか、担当ケースを増やすことを幹部に相談していきます。就労前、就労後の支援を行ったり、週に六企業以上の雇用主の支援を行うこととしています。

チーム内で、

ポジティブ・シンキングの醸成を！

IPSチームのスーパーバイザーにIPSの成功にとって大切なものを伺いました。

「支援は失敗の連続だけど、失敗



IPS Employment Center,
Deborah R. Becker

Howard Center IPS supervisor
Marlene Williamson

失敗として考えず、それを一連の情報、continuous assessment（継続して評価すること）として捉えることが重要。そして常にスタッフにその前向きな考え方をcultureとして浸透させることが大切。でもそれが最も難しいこと。だから私たちはスタッフミーティングの時にクライアントが隣に座っていると思って話すの」と言っています。

ベッカーさんにも質問しました。「誰でも働けると信じられること」「予想することは無意味だから、予想しないこと。まず、やってみるこ

と」と明確に話していました。そこに、流れている答えは似ていて、いかにも、アメリカらしいなと感じました。

日本では前向きな思考になりにくい

では、予想する前にやってみるという前向きな思考は、日本では出来ないのか？ということ。ここらの不調を経験した人が社会に出て働くということは、確かに大変なことです。でもリスクを回避して、働きたいという夢は実現できるのでしょいか？この考え方が、元々精神科リハビリテーションにおいて、万国共通であるべきものではないかと思えます。しかし、**日本における問題点は、「リスクを取って挑戦する」という前向きな思考になりにくい**ということが、結論として出ました。

この結論を踏まえ、帰国後病院にて、IPSの導入に当たっては、オリジナル通りにやってみることにしました。ベッカーさんからIPS導入ガイドというものを頂き、このガイドを純粋に訳して、ガイド通りに実践しようと思いました。このガイドは本当に分かりやすく、細かい問題の解決方法が記してありました。この本は非常に役に立ちましたので、

この春出版して、多くの方の役に立てられたらと思います。

西川病院では、S・IPS（シッブス）というチーム名で活動しています。

私たちが行っているIPSの構造は以下の通りです。清和会という病院がありまして、その中でIPSを行っています。ACTも行っています。島根県とはとても小さい町ですが、多くの就労支援機関はたくさんあるなと実感しました。しかし、たくさんある機関が上手く連携しているかというと、そうでもないというのが実感です。多くの機関が通所してサービスを行うという形で、中々連携は生まれません。

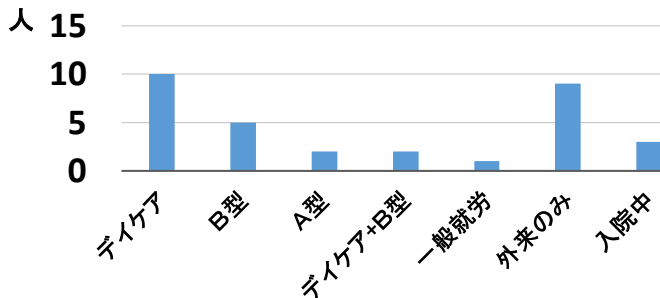
IPSは七十%を地域で過ごしますので、訪問系になります。地域に広がっているサービスをつなぐ役割が、IPSにはできないのではないかと考えています。町全体が私たちのフィールドになり、町全体が少しずつ変わっていくばいなと思います。次のグラフは、IPSをどのような人が利用したのか、ということ。デイケアにオフィスがありますので、必然的にデイケアの利用者が多いですが、私の立場から強調したいのは、外来のみという方です。外

SIPS 活動状況

・新規相談ケース(H28.4-12月): 86人

・利用登録者数(H28.4-12月): 39人

・一月平均支援回数(H28.4-12月): 91.6回



来のみという方が一番難しいんです。以前就労の経験があり、デイケアやB型と言われても、・・・と、実際はサービスを受けてない人がほとんどです。しかし、実際は二、三年も家にこもっている、という状況です。たまに働かないか？と投げかけて、ハローワークに行ってきたという人もいるのですが、いい求人がなかったとあきらめてしまう人もいます。こういう方はどう支援すればいいのか？というのが悩みなんです。ただ、仕事に就くための支援を受けられるなら、そのような支援を受けたという人が、実際はとても多いん

です。そのような方が外来のみの方に入っています。また入院中から支援を開始した人もいます。

最初に紹介したケースについてお話ししたいと思います。冒頭お話しただけだと、非常にサクセスストーリーです。しかし、あの後色々な後日談がありまして、一年以上しっかり働いて給与もしっかりもらって、気の緩みもあったと思います。無免許で車を運転して、追突事故を起こしそのまま逃げたんですね。捜索がかかり警察に逮捕されました。会社は即、首になり、家庭裁判所に送致されました。その話を聞いた時、何のためにこれまで支援を行ってきたのか、泣きたい気持ちになりました。周りの方と彼の支援について話をしました。あるスタッフが、「やるだけやっただけじゃない」と言ってくれました。でもどこまで支援をやったらいいのか、ということ。答えはないんです。またあるスタッフが、「そもそも彼って、私たちの精神科治療や支援対象だったんだろうか」と言っていました。精神科疾患は本当に幅が広くて、境界も非常にあいまいです。どこからが支援対象で、どこから違うのかは、はっきりしたものがないのです。支援者の価値観や

「予想する前に、まず挑戦する！」はアメリカ特有の考え方？

- ・こころの不調を経験したひとが社会に出て働くことは確かに大変なこと。
- ・でも、リスクを回避していて、その夢は実現できるだろうか。
- ・この考え方は、もともと精神科リハビリテーションにおいて、万国共通であるべきものではないのか。
- ・しかし、日本における問題点は、「リスクを取って挑戦する」という前向き思考になりにくいことである。



スタッフの抱えている仕事量によって非常に曖昧なんです。そのようなことを考えると、IPSの原則を見た時に、解釈が変わりました。その人を支援するか、しないかという協議をするという時間を割くよりは、**希望すれば全員、支援していくんだ、希望されるまでとんとん支援していく、という覚悟を決めなさい**、ということがあったのではないかなと思うようになりました。彼が今まで懸命に働いた期間は、おそらく無駄ではなかったと思います。す。これからの彼の決定においても、プラスになると思います。今後、彼

シンポジウム

の成長を考えた時、仕事をしないで彼の成長は考えにくいんです。再び彼が支援を希望すれば、今後のことを予想せず、支援をしていきたいと思っています。



川崎医療福祉大学
コーディネーター 長崎和則教授

「IPS実施機関における実践報告」

新家 なぜ、働きたいと思いましたか？

森木 週三日のデイケアの通所だけでは満足していなかったし、社会人として自立し、働く生き方にあこがれていました。

新家 S・IPSの支援を受けるきっかけを教えてください。

森木 デイケアで、SIPSを利用すれば、一般就労ができると教えてもらいました。

新家 ご家族の反応はどうですか？

森木 デイケアに週二回しか行けな



ジョブサポートセンターあすなろ 田中伸幸氏(左)

山本路文氏(右)

就労支援センターFLaT 丸山 次郎氏(左)

八十島 慎介氏

西川病院SIPS 新家 望美氏(左)

森木 裕一氏(右)

い状況では働くことができないのではないかと思われていたのと、働くことで症状が悪くなるのではないかと不安な気持ちもありました。そこで林先生からSIPSの支援方法、IPSの説明、海外での実績を家族伝えてもらいました。病気になる前から両親からは一生働くことが出来ないのではないかと思われていたのでも喜んでいきます。

新家 デイ・ケアに淡々と週2日通所している様子から、本人を知る多くの人は、本人の就労は無理ではないかと感じていました。しかし、主治医(林輝男先生)、就労支援専門員は、本人の内に秘められた就労意欲や知的水準は高く、仕事内容が合えば十分に就労は可能だと確信していました。そこで林先生からSIPSの支援方法、IPSの説明、海外での実績を家族に伝えてもらいました。病気になる前から両親からは一生働くことが出来ないのではないかと思われていたのでも喜んでいきます。「誰でも働ける」と言うIPSの理念と本人のストレングスを理解することで就労は可能になると実感しています。

丸山 広島県、就労移行支援事業所フラットでは就労移行プログラムは

やっています。八十島さんは、平成二十六年十二月から現在まで、ベビー用品店に努めておられます。平成二十七年春からはフルタイムで勤務され社会保険に加入されています。

八十島 仕事をしていて落ち込む波があります。でも波なので戻る、とも思えるようになった。結論を早く出すぎないようにする。嫌なことも「いったん寝かせて」おいておくことができるようになりました。

田中 山本さんのプロフィールです。明るく元気で、責任感が強い方です。体を動かすことが好きな方です。これまで清掃会社勤務した経験をお持ちです。職場見学や実習を経て、自分らしい働き方を整理し、今ではカラオケ店の清掃業務を行っています。

長崎 IPSは従来の支援と違い、働きたいという希望があれば最大限応援していくという事です。IPS支援者との関係に関してはどの様に感じていますか？

山本 今支援してくれる人はすごい人だと思っている。自分の困っていることに親身になってくれています。

八十島 運命の人に出会えました。特に目標もなく、なんとなく働きた

いと思っていますけれども、ちゃんと付き合ってくれている

森木 SIPSに対して、就労支援をしてくれることが最初はほんとかなど思っていたが、ハローワークと一緒に来てくれたり、支援し続けてくれました。

長崎 (会場からの質問から) 就職後のフォローアップは？

田中 明確な卒業はありません。安定していると訪問頻度は少なくなります。

山本 困ったことがあれば連絡する

丸山 明確にいつまでとは決めていません。個人個人のかかわりの頻度は違います。自発的に発信しない人は支援頻度が上がります。

新家 就職後は、受診の時に声をかけています。

来月号では、分科会内容報告、大会参加者の感想や、分科会講師から「IPSへの思い」「アンケート結果」などを紹介します。

投稿・募集
コーナー



←「梅と不二の山」英聖作



→「早春賦」英聖作

ドラマ、ラブレターを見ました。耳の聞こえない女性が主人公です...感動するドラマです。 凄く、面白かったです...



사카모토우가より

広汎性発達障害



精神科受診



はるっこ広場



イラストや絵を描くのが好きな人・詩・小説など文章を書くのが好きな人！
作品投稿募集中！
作品のみでなく、オススメの場所やものなども募集しています！

古楽日和

ハルッコウ

藤井 健吾

(前回からの続き)

ある時、インターネットでだと思いが、「数学」というのは無限を扱い、考える学問だ」といったような情報を読んだ。数学は中学以来、筆者が最も苦手とする教科だ。今でも苦手だ。しかしこの無限を扱うというところにおおいに興味を覚えた。

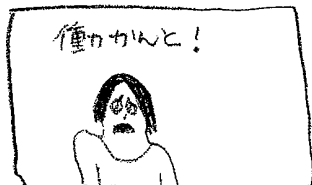
確かに数というのは、無限に存在する。もちろんこれは理論上での話だ。仮に、人間が数を扱うとすれば、それは一(いち)から始まって無限に続くわけだから、一や二と同じような感覚で「無限の数」が扱えないと、それは理論上、正しくないということになってしまう。であるならば、無限の数は、はっきりと定めることのできるもの(定義できるもの)ということになる。しかし、そもそも無限というものは存在するのであるうか。先に述べたように数が無限にあるとすれば、無限は理論上は存在するということだ。だから無限は定義できるのである。

また、有限の反対としての無限であるならば、有限であるものも定義しなければならぬ。果たして有限であるものとは何であろうか。限りあるものだと考えれば、それは命あるものということになるだろう。すなわち生物である。

では、無限とは何であろうか。それは命あるものに対するものである。この世の中には誰もが考えるであろう「無限な存在」がある。そう、「神」である。

(さらに次回に続く)

退院したての頃は焦っていた



自立するのがそんなに大事？
かを合わせて生きていけばいいが



コンドルへ行って交流したよ！



2月23日(木)にピアセンタークローバーのメンバー7名でワークステーションコンドル&支援センターコンドルに行ってきました。ピアサポーターの体験発表と交流会を行い、約20名の方が参加してくれました！初めてのコンドル訪問ということもあり、施設の案内もして頂きました(無理言ってますが)。今度はぜひ遊びに来てくれたらなあと思っています♪



てっちゃんサークル再開！！



2月25日(土)てっちゃんサークルが久しぶりの再開をいたしました！ちゃんとレールも準備して走らせてましたが、ずーっと見てても飽きない気持ちになりました(笑)

まだ見たことない人はぜひ見てみてください♪
次回こうご期待！！



紙屋町商店街のお店紹介！No.2

表町商店街は「上之町」「中之町」「下之町」「栄町」「紙屋町」「西大寺町」「新西大寺町」「千日前」の八つの町で結成されています。あすなろ福祉会は紙屋町の一員です！そこで紙屋町の魅力あるお店を少しずつ紹介していこうと思います♪

木下ラジオ

【木下ラジオ商事有限会社】

《木下ラジオさんデータ》

- 店名 木下ラジオ商事有限会社 (略して木下ラジオ)
- 電話 086-231-0351
- 住所 岡山市北区表町3-6-32
- 開店時間 10:00~19:30 年中無休
- 創業 1945年12月(72年目)

【取り扱い商品】

電気とつくもの全製品+タバコ

【店主のPR】

電気のことなら何でもお気軽にご相談ください。使用済みの小型家電の回収、リサイクルもしています！

【ホームページ】

<http://kamiyacho.omotecho.or.jp/shop/kinoshita/>



電気のことなら
何でも相談できる
街の電気屋さん♪



温かくご夫婦が迎えてくれます。ぜひお立ち寄りを☆

はるランチ& お菓子サークル

二月二十五日(土)はる・おかやまにて「ぼたん鍋パーティ」を開催しました。

あすなろメンバーから猪肉をいただき、みんなでぼたん鍋を六名で作りました。午前十一時から調理開始。野菜、きのこ、豆腐は皆で分担して切り、味付けは、味噌、酒、みりん、だし汁にて仕上げました。煮立った最後におもちを入れて、お味の方は……美味しー！体が温まる！みんなで作って食べれば美味しいに決まっているよね。お腹いっぱいになりました！

はるランチには多くの参加者お待ちしています。一緒に作りましょう。メニューはスケジュール表で確認してね。



二月二二日(火)は、お菓子サークルでした。ベビーカーステラをメンバー五人で楽しく作りました。バナナ入・チョコ入・小豆入の三種類が出来上がりました。



冬でもあすなろの皆は元気だ！ハイキングに行こう！！

二月二十二日(水)の午後、あすなろ(総勢十一名)でハイキングに行きました。今回は高倉山に登りました。岡山市と赤磐市の境にあり、春には桜とパラグライダーのスポットとしてにぎわう山です。

十二時半にあすなろを出発し、登山口へ。同じコースを歩きました。アスファルト加工された登山道であったため足場は良く、歩きやすかったです。

十四時過ぎに山頂に到着しました。スタッフ特性のお弁当を食べました。しかし、標高四五八メートルの山は風がとても冷たく……ちよつと凍えながらのランチになりました。頂上でお湯を沸かして作った暖かい味噌汁が驚くほど身に染みました(笑)

登りは二時間、下りは一時間、合計三時間ほどの時間をかけて歩きました。あまり立ち止まらずにすたすたと歩く皆さんの体力に脱帽です。またハイキングに行きましょう！！



職場見学・いんべクトル

二月三日(木)先月就労セミナーで、人事担当者としての目線や面接時のポイントについてお話しいただいた株式会社ベクトルさんの職場に見学に行ってきました。

ベクトルさんはリサイクル業を主軸に様々な事業を展開しております。多くのリサイクル品は「ベクトル・グローバルポート」という査定・出品センターに集約されインターネット上でのお店に次々と出品されていきます。



広い倉庫内には音楽が流れ、たくさんの人たちが穏やかな雰囲気写真撮影から出品の為に入力業務まで自分のそれぞれの得意分野で分業協力して行くいくチームなど、個性を人員配置や、整理整頓を「見える化」し、みんなが働きやすい環境設定など、様々な工夫がなされていました。

こうした職場見学は、現在就職活動中の人にも、これから仕事を探していく人にも大変参考になります。ベクトルさん、お世話になりました！



岡山市長杯で、 良い汗かきました！

二月一九日(日)、岡山市障害者体育センターにて岡山市障害者親善スポーツ大会(岡山市長杯)・卓球の部が開かれました！今回はその様子をレポートしたいと思います！



あすなろから出場したのは、四名！その誰もが卓球経験者であり、あすなろ内でも一、二位を争う猛者たちです。しかし！全国から集まった卓球の強者たちが出揃ったこの岡山市長杯。なかなか白星を収めることが出来ませんでした(泣)



悔しさをばねに再び卓球サークルでその腕を磨こうと誓ったあすなろ卓球組でした。

ありがとう上映会 あすなろ 家族の会主催

二月四日(土)にきらめきプラザであすなろ家族の会主催の「ありがとう2」の上映会を行いました。家族、当事者、支援者含めて二名の参加がありました。

小森会長と出演者三名のあいさつから始まり上映会を行いました。終了後、参加者で交流を行い映画の感想を共有しました。感想では、「映画の中の夫婦のように手を握り合っていたいと思った。」「心にグサッと来た。」「一生懸命頑張っている当事者たちの姿に勇気づけられて頑張ろうと思った。」「人は支え合って生きてるなあ。」「事も無い日常が一番幸せだと感じた。」「などの意見が出ました。また、「ありがとう」と伝えたいとしたら誰ですか？伝えるとしたらどうやって伝えますか？というテーマで話をしたところ、家族(親、妻、夫)や職場の方、亡くなった祖父母などに伝えたいという意見が多く、伝え方としては、直接「ありがとう」と伝える、自分の成長した姿を見せよう、どこかに一緒に出かける、仏壇に手を合わせるなどの意見が出ました。グループに分かれて行った為、他のグループも見て回りみんなで意見を共有しました。

次回の家族会は三月一八日(土)一三時半からあすなろ福祉会本部(浜)にて行う予定になっています。見学も受け付けておりますので、スタッフ(徳田・丸橋)までお問い合わせください。



二月の「癒し場」開催しました！

二月一六日(木)運営者を入れて八名の参加で「癒し場」を開催しました。

皆さんから出して頂き、話し合ったテーマは、『家族に対して、今はどのような気持ちを持っていますか？』と、『障害で困っている事』の二つでした。

『家族に対して、今はどのような気持ちを持っていますか？』のテーマでは、家族との距離感の話が中心でした。仲の良い時は傍にいて有り難いと思うし、仲の悪い時は離れて暮らしたくなるし、時期によって仲の良い時と悪い時があるので、余計に距離のとり方が難しいという意見が有りました。

『障害で困っている事』のテーマでは、どうやって自分の心身をコントロールするか？という事に対しての意見が多くありました。また、障害(生き辛さ)を持ちながらも就労や社会参加・貢献をする事に対しての意見も出たりしました。

そこでテーマを話し合った後に、WRAP(元氣回復行動プラン)の元氣の道具箱をそれぞれで出し合いました。

そこで出たのが「音楽(モーニング娘・AKB)」「ポケモンGO」とんねるずのカップパーマン「横になって動画(ゲーム実況・ハムスター動画・癒し系)を見る」「友達に会う」「ゲーム」「一人で外に出る(駅前や河川敷)」「カラオケ(とにかく声を出す)」「サイクリング」などでした。元氣になれたり、自分らしくいられる事を見つけて、少しでも調子の波をコントロールしたいものです。

次回は3月30日に開催します！

13:00～ジョブサポ1階
多くの方の御参加を心からお待ちしております。見学・途中参加も歓迎です！

* 他の参加者を批判したり改善を強要しない事を第一のルールにしています。

INFOMATION

3月の予定

3月		
14	火	「バランスボール」10時 卓球サークル 13時半(13時あすなろ出発)
15	水	お菓子サークル 13時
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	PC 講座 10時
22	水	WRAP10時
23	木	つどい 13時半
24	金	ソフトボール 13時
25	土	お抹茶サークル 11時
26	日	
27	月	
28	火	「散歩」10時 卓球サークル 13時半(13時あすなろ出発)
29	水	イオンモールへ行こう! 13時半出発
30	木	いやしば 13時 フットサル交流会 13時(12時半あすなろ出発)
31	金	
4月		
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	ばるカフェ13:30

※プログラム・サークル活動に参加希望の方はご連絡を
よろしくをお願いします。

※日程が変更になることもありますのでご確認ください。

- 発行: 社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒700-0822 岡山市北区表町 3-7-27
- 編集: ばる・おかやま
- TEL: 086-201-1720 FAX: 086-201-1713
- E-mail: pal-oka@mx35.tiki.ne.jp
- ホームページ: <http://asunarofuku.jp/>

15日(水) お菓子サークル

内容 カップケーキ
場所 ばるおかやま
時間 13時から
参加費 100~200円
(参加人数による)



14日(火)、28日(火) 卓球サークル

場所 障害者体育センター
時間 13時30分 現地集合
(13時あすなろ出発)
一緒に汗を流しませんか?

30日(木) フットサル交流会

場所 岡山ドーム
時間 13時~15時
(12時半あすなろ出発)
持ち物 動ける服装、運動靴。飲み物



クローバー ピア電話相談

	火	水	木	金	土
	14	15	16	17	18
AM	○	○	○	○	○
PM	休	休	休	○	○
	21	22	23	24	25
AM	○	休	○	○	○
PM	○	○	○	休	休
	28	29	30	31	
AM	○	休	○	○	
PM	○	休	○	○	

ピア電話相談とは
「ピア(peer)」とは、
「仲間・対等」という意味。
ピアセンタークローバーで
は、同じ病気の体験をした仲
間たちが、自分の経験をもと
に、同じような悩みで困っ
ている方々を支えていくピアサ
ポート活動を行っています。
気軽にお電話ください!

午前 10時~13時

午後 13時~16時

ピア電話相談

086-201-1719

来所相談も行っております。
ご相談ください。

